

ミナ ペルホネン / 皆川明 つづく minä perhonen / minagawa akira TSUZUKU

11月8日(日)まで [展覧会特設サイト mina-tsuzuku.jp](#)

デザイナーの皆川明(1967-)が設立したブランド、ミナ ペルホネン。流行に左右されず、長年着用できる普遍的な価値を持つ「特別な日常服」をコンセプトとし、独自のものづくりを続けてきました。ミナ ペルホネンと皆川明のものづくりとその思考をこれまでにない規模でご紹介します。

日時指定予約制

新型コロナウイルス感染症対策として、本展の入場は日時指定の事前予約制となりました。詳細は本展特設サイトをご覧ください。

関連イベント(全てオンライン:本展特設サイト内「Movie」ページで公開中)

- GALLERY TALK 皆川明によるギャラリートーク
- CROSS TALK ①皆川明×中村好文(建築家) ②皆川明×ナガオカケンメイ(デザイン活動家)
- TRIPARTITE TALK 皆川明×田中景子×長江青「ミナ ペルホネンをつくる」

観覧料

一般:1,400円/大学生:1,000円/70歳以上:700円/障がいのある方(一般:350円、大学生:250円)/高校生以下無料

- ※障がいのある方の介護の方1名は無料です。
- ※70歳以上、障がいのある方は、会期中、館内券売所でのみ販売します。
- ※一般以外の料金には証明できるものの提示が必要です。



本展「実」セクション
Photo: Ooki JINGU

秋・冬の特別展延期のお知らせ

展覧会案内ほかで案内しておりました下記の特別展を延期します。(延期開催日程は未定です)

- スーラージュと森田子龍(仮題) [旧会期:11月28日(土)~2021年1月24日(日)]
- マヌエロ・フランケロ展(仮題) [旧会期:2021年2月6日(土)~4月4日(日)]

開館50周年 今こそGUTAI 泉美の具体コレクション

12月5日(土)~2021年2月7日(日)

所蔵品の中から、具体美術協会(具体、1954-1972)の作品を取り上げます。18年もの間、旺盛な活動を続けたこのグループは、戦後の日本美術を語る上で欠かせない「GUTAI」として、国際的にも高い評価を受けています。1970年に前身の県立近代美術館が開館して以来、長年にわたって築かれた当館の「具体」コレクションは、充実した点数、豊かな内容とともに、最も誇れるもののひとつです。この展覧会では、兵庫県立近代美術館から現在にいたる50年間の収集を視野に入れながら、ひとつのイメージに収斂しない多角的な「具体」像を考えます。



山崎つる子(作品)1958年
山村コレクション

注目作家紹介プログラム チャンネル11

徳重道朗 「ゆきゆきて神戸」

11月21日(土)~12月20日(日)
【ギャラリー棟 アトリエ1】にて 観覧料:無料



徳重道朗(山並み)2016年
展示風景:Assembridge NAGOYA 2016
現代美術展
「パノラマ庭園 一動の生態系にしろす」
撮影:柏土鉄夫
画像提供:アッセンブリッジ・ナゴヤ実行委員会

現在活躍している作家を紹介するシリーズの第11回として、愛知県を拠点に活動している徳重道朗(1971年-)にスポットをあてます。徳重は、会場をなんらかの風景に見立て、その場所の特性を巧みに活かしたり、場所の意味を引き出したりするインスタレーションで知られています。今回は、流しの設備があるアトリエ1の会場を使って、水や水利に関係する新作インスタレーションを展開する予定です。

2020年 コレクション展Ⅱ

10月10日(土)~12月27日(日) [展覧会特集ページ](#) [artm.pref.hyogo.jp/exhibition/j_2010/](#)

休館日:毎週月曜日、ただし11月23日(月・祝)開館、11月24日(火)休館

兵庫県立美術館では、前身である兵庫県立近代美術館(1970年開館)から継続的に作品収集を続け、これまでに収蔵された作品数は10,000点以上にのぼります。今年度第Ⅱ期コレクション展の小企画では、アジア・太平洋戦争中に相生市にある播磨造船所とその近辺で建造作業の様子を描いた吉田博の創作活動に焦点を当てます。特集展示は、美術作品を鑑賞する際の目の動きに着目します。その他、小磯良平記念室、金山平三記念室での展示も合わせ、当館の多彩なコレクションを紹介します。

観覧料

一般:500(400)[300]円/大学生:400(300)[200]円/高校生以下無料

- ※()内は20名以上の団体料金/[]内は特別展とのセット料金
- ※70歳以上の方は一般当日料金の半額です。
- ※障がいのある方1名につき介護の方1名は無料です。
- ※割引には証明できるものが必要です。
- ※2つの割引を併用することはできません。
- ※毎月第2日曜日は公益財団法人伊藤文化財団の協賛により無料で鑑賞できます。

《小企画》 吉田博 播磨造船所 絵画群

The Paintings by Yoshida Hiroshi
on Harima Shipyard



吉田博《播磨造船所 松の浦工場東船台》1944年頃
IHI相生事務所(兵庫県立美術館寄託)

吉田博(1876-1950年、福岡県生まれ)は、明治、大正、昭和にわたって活躍した版画家、洋画家です。彼は、アジア・太平洋戦争の時期に相生市の播磨造船所で働く勤労学徒の姿を描き、造船所や学校にその絵を寄贈しました。本展は、寄託作品を核とする現存分20点を一堂に並べます。また、造船所に関する姫路の広畑製鉄所の絵2点、関連下絵数十点もあわせて展示します。未曾有の時期にあっても、旺盛な活動を続けた画家の軌跡をご覧ください。

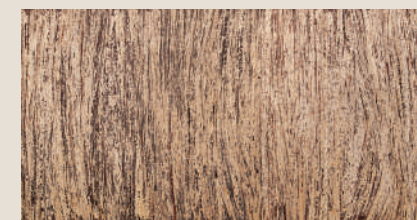
関連イベント

- 学芸員による解説会「吉田博と播磨造船所」
10月10日(土) 14:00~14:45
レクチャールームにて ※聴講無料、先着40名
兵庫県立美術館「芸術の館友の会」会員の優先座席あり

《特集展示》

視覚遊戯

GAME of SIGHT: the delightful connection between Art and Eyes
美術と目の楽しいカンケイ



八田豊《流れ97-08》1997年
撮影:草木貞照

昨年度、当館のコレクションに新たに加わった作品をご紹介します。展覧会のテーマは美術作品を鑑賞する時の目の動きです。わたしたちは作品を見る時、色や形にとどまらない多くの情報を得ています。表面のつくり、二次元と三次元の関係性、重力や光の要素の点などいくつかの視点から考えてみましょう。また、新たに収蔵した小出権重と橋本関雪の作品も「卓上の表現」と「動物」のテーマで他の作品とともに展示します。

関連イベント

- 学芸員による解説会
10月31日(土) 11月14日(土) 11月15日(日)
各日16:00~16:45
レクチャールームにて ※聴講無料、先着40名
- こどものイベント(予定)
詳細は決まり次第当館webサイトでお知らせします

「クラシックコンサート」や「落語の会」を再開します!

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用にご協力をお願いします。 *マスク着用でない方、発熱症状のある方はお断りいたします。

美術館の調べ

■ピアノトリオコンサート
~深秋に想いを馳せて~
10月24日(土) 14:00~
アトリエにて
(定員30人、無料。当日13:00から整理券、来場者カード配布)
曲目:ベートーヴェン「ピアノ三重奏曲 第4番『街の歌』」ほか



ヴァイオリン 中嶋弥生
チェロ 渡邊弾菜
ピアノ 山中歩夢

文化の日に贈るクラシックコンサート

■河内仁志ピアノリサイタル
11月3日(火・祝) 14:00~ アトリエにて
(定員50人、無料。当日13:00から整理券、来場者カード配布)
曲目:ショパン「ノクターン第2番Op.9-2」「エチュードOp.10-1,4,5,8」ノドビュシー「映像第1集より 水の反映」ほか



ピアノ 河内仁志

落語の会

■県美亭ワンコイン寄席
~寄席囃子 待ってましたと 客の声~
11月6日(金) 14:00~ アトリエにて
500円(定員40人。ホームページから予約受付)
演目:「開口一番」露の吉次
「質屋蔵」笑福亭仁熈



露の吉次 笑福亭仁熈

KEN-Vi名画サロン

■「世界で一番ゴッホを描いた男」
10月30日(金)、31日(土)
20年にわたりゴッホの複製画を描き続け、ゴッホに人生を捧げる男の姿を追った感動のドキュメンタリー(2016年)。
監督:ユイ・ハイパー、キキ・ティンチー・ユイ
出演:チャオ・シャオヨン
ミュージアムホールにて 両日とも①11:00 ②13:30 ③16:00
(各回定員100人、入れ替え制。当日受付時にお名前などの届けをお願いします)
1人1,000円 「芸術の館友の会」会員500円



©Century Image Media (China)

■「ふるさと」

11月13日(金)
ダム建設で湖底に沈みゆく岐阜県徳山村にカメラを据え、そこに生きる人間の営みを最高の演技陣の競演で描いた文芸巨編(1983年)。
監督:神山征二郎
出演:加藤嘉、長門裕之、榎山文枝
ミュージアムホールにて ①11:00 ②13:30 ③16:00
(各回定員100人、入れ替え制。当日受付時にお名前などの届けをお願いします)
1人1,000円 「芸術の館友の会」会員500円



兵庫県立美術館公式Youtubeチャンネルを開設しました

無観客で開催した「美術館の調べ」や「落語の会」などオンラインでお楽しみいただけます。



美術館の調べ

■中谷彩花ピアノリサイタル
7月10日(金)収録
曲目:ショパン「ノクターン第8番Op.27-2」
「ラフマニノフ「前奏曲『鐘』Op.3-2」
「プロコフィエフ「前奏曲『ハーブ』」
10の小品よりOp.12-7」
ショパン「ノクターン第20番嬰八短調『遺作』」



ピアノ 中谷彩花

■片岡あづさチェロリサイタル

7月15日(水)収録
曲目:カサド「親愛の言葉」
「パラディス「シチリアーノ」
「フランク「ヴァイオリンソナタ長調 第4楽章(チェロ編曲版)」



チェロ 片岡あづさ

■新曉子&井手智佳子 デュオコンサート

8月12日(水)収録
曲目:ブラームス「クラリネットとピアノのためのソナタ第1番 第1楽章、第2楽章」
「 Schubert 「ロマンツェ」



クラリネット 新曉子
ピアノ 井手智佳子

■小幡美雨ピアノリサイタル

9月2日(水)収録
曲目:シューマン「ピアノソナタ第3番Op.14第1楽章」
「ブラームス「パガニーニの主題による変奏曲Op.35-2」



ピアノ 小幡美雨

■志賀俊亮ピアノリサイタル

10月14日(水)収録
曲目:ガーシュイン「3つの前奏曲」
「ラヴェル「古風なメヌエット」



ピアノ 志賀俊亮

落語の会

■県美亭寄席
~笑って免疫力 アップ寄席~
8月22日(土)収録
演目:露の吉次「竹の水仙」
「紀州」



露の吉次

各主催者によるイベント

いずれのイベントも入場料は無料

■日韓友好版画展

10月4日(日)~11日(日)
10:00~17:00
ギャラリー棟3階にて
主催:日韓友好版画協会
問合せ先:090-7484-4507

■芦屋第二モダニズム展

10月15日(木)~21日(水)
10:00~18:00
ギャラリー棟3階にて
主催:芦屋芸術写真集団 AAPS
問合せ先:090-8388-4649

■vol. 37 進化系 ポウ展

10月23日(金)~25日(日)
10:00~20:00
(最終日は14:00まで)
ギャラリー棟3階にて
主催:POU展実行委員会
問合せ先:090-7555-6607

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開館時間、各イベントなどの日程は変更する場合がございます。最新の情報や詳しい情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

■スタジオアジュール2020展

「私はアート派!」
11月3日(火・祝)~8日(日)
10:00~18:00
(初日は14:00から、最終日は15:00まで)
ギャラリー棟3階にて
主催:スタジオアジュール
問合せ先:0744-28-3699

■炎と筆の競演 2020

11月18日(水)~23日(月・祝)
10:00~18:00(最終日は14:00まで)
ギャラリー棟3階にて
主催:一般社団法人日本デザイン・陶器研究協会
問合せ先:03-5577-2818

共催展

■第16回みんなのアート展
12月16日(水)~20日(日)
10:00~17:00(最終日は14:30まで)
ギャラリー棟3階にて
主催:兵庫県教育委員会
問合せ先:078-362-3774